

第159回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年11月4日（金）16:00～16:10
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日の新規陽性者数は682人です。

昨日は休日のため、前の週を下回りましたが、10月24日から十日続けて前の週の同じ曜日を上回っていたほか、今週、月曜日、火曜日には1,500人を超えております。

次に、4ページ。

11月3日現在の療養者の状況です。

入院者は276人、うち重症者が1人となっております。

宿泊療養施設入所者数は303人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、409.73人。

11月2日から、二日続けて400人を上回っております。

次に、8ページ

病床使用率は36.3%。

10月12日以降レベル2の水準で推移しておりますが、10月31日からは30%を上回っております。

次に、11ページ

モニタリング指標です。

「人口10万人当たりの新規陽性者数」（409.73人）が、レベル3、

「病床の使用率」（36.3%）が、レベル2、

「重症者用の病床使用率」（2.2%）が、レベル1となっております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

まず接種実績ですが、11月2日時点の接種実績については記載のとおりになります。このうち、オミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、134,370回、全人口に対する接種率は、7.3%となっております。

次に、資料上段右側ですが、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1・2回目接種、いわゆる初回接種を完了したお子さんが42.1%となっており、3回目接種の接種回数は、7,591回、接種率は7.4%となっております。

14ページをご覧ください。

オミクロン株対応ワクチンの接種対象は、1・2回目接種、いわゆる初回接種を完了した12歳以上の方となります。そのため、年内に初回接種を完了すれば、特例臨時接種の終期とされる来年3月末までにオミクロン株対応ワクチン接種を受けることができます。

初回接種を完了されていない方のため、県では、11月から12月にかけて、郡山市及び福島市において、初回接種を受けられる機会を設けております。

現在、予約を受け付けておりますので、初回接種がお済みでない方は、年内の初回接種完了をぜひ御検討ください。

最後に、冬場の新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの大規模な同時流行に備え、新型コロナワクチンをできるだけ多くの方が接種できるよう、市町村と連携しながら、接種促進に取り組んでまいります。

(金光教授)

現在は下げ止まりではなく、完全に再び増加に転じていると思います。

当然、感染者が多くなれば必然的に我々が感染する可能性が高くなりますので、今は感染対策を少しでも強化してほしいし、特に制限はありませんが、やはり避けられる人との接触は避けていくのが賢明だろうと思います。

今、福島県では、10万人当たりの感染者数は、日本の都道府県の中で比べても最も悪いグループにいることも知っていただきたいと思います。

また、日本にも新たな変異株が入ってきています。

このウイルスの性格がまだ分からないところもありますので、しばらく様子を見ていく必要があると考えております。

(知事)

はじめに、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、県民の皆様、事業者の皆様においては、日々の様々な場面において、感染拡大防止への御理解、御協力を頂いております。ありがとうございます。

全国では、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続くなど、感染拡大の傾向が見られております。特に秋が深まった東北地方など気温の低い地域では、人口10万人当たりの新規陽性者数が多い状況となっています。

福島県における新規陽性者数も、今週に入り2日連続で、千五百人を超えるなど、感染が再拡大しています。

このため、県民の皆様においては、引き続き、基本的な感染対策を徹底されるようお願いいたします。

この冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念をされています。このため、特に「予防」と「備え」が必要となります。

まず「予防」についてです。新型コロナワクチンを接種することで、発症予防や感染予防など一定の効果が期待されています。オミクロン株対応のワクチン接種も始まっています。まだお済みでない方は、速やかな接種をお願いします。

併せて、季節性インフルエンザの重症化予防のため、インフルエンザワクチンについても、早めの接種をお願いします。

次に「備え」です。感染しても慌てずに自宅療養等ができるよう、薬や抗原検査キット、日持ちする食料などの備蓄をお願いします。

なお、備蓄には、「ローリングストック」という方法があります。日常生活のなかで備蓄品を上手に使用しながら、常に新しいものと入れ替えていくことで、感染した場合の備えとしてだけでなく、防災対策や食品ロス対策等にもつながります。日頃からの備えを進めていきましょう。

次に、換気についてのお願いです。

朝晩の冷え込みが厳しくなり、換気がおろそかになってしまいがちですが、感染リスクを低減するためには、効果的な換気が重要です。

機械換気装置による常時換気や2方向の窓開け換気等により、十分な換気量を確保してください。定期的な点検やフィルタの清掃等もお願いします。

また、空気の流れに対して平行にパーティションを配置するなど、空気の流れに配慮した効果的な換気を行いましょう。

先ほどもお話をしたとおり、県内では、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続くなど、感染が再拡大しています。病床使用率も上昇していることから、医療提供体制への負荷が再び増加することが懸念をされます。

このため、県民の皆様お一人お一人が警戒感をもって、様々な場面で、換気など基本的な感染対策を徹底していただくとともに、季節性インフルエンザとの同時流行を見据えた「予防」と「備え」を進めていただくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。